

コアカリ重点ポイント集

訂正表

vol.1

①物理系薬学

②化学系薬学

③生物系薬学

vol.2

④薬と疾病 I

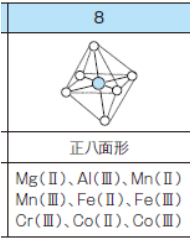
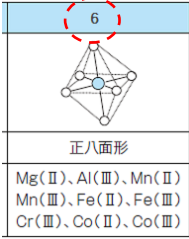

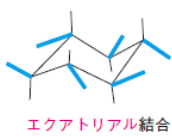


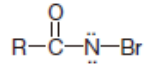
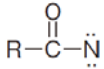
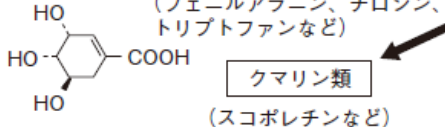
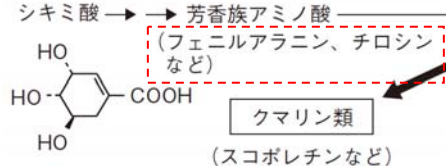
vol.3

⑦ヒューマニズム／イントロダクション

薬学ゼミナール

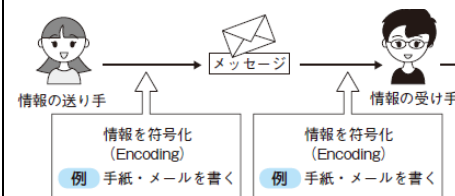
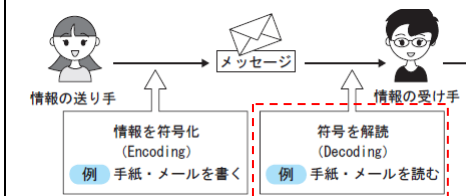
2010.08.01 発行

	訂正前	訂正後
P.24 4.1.2 表 β^+ 壊変	$^{11}_6\text{C} \rightarrow ^{11}_5\text{C}$ β^+ 粒子	$^{11}_6\text{C} \rightarrow ^{11}_5\text{B}$ β^+ 粒子
P.55 1.3.1 図		
P.56 1.3.3 図	<p>↓</p> <p>モル分率</p> <p>点P { 点Q { A 0.7% B 0.3%</p> <p> 点R { A 0.2% B 0.8%</p>	<p>↓</p> <p>モル分率</p> <p>点P { 点Q { A 0.7 B 0.3</p> <p> 点R { A 0.2 B 0.8</p>
P.66 1.7.4 C 上から3行目	HLB<7…親油性が小さい	HLB<7…親水性が小さい
P.82 1次反応	<p>↓</p> <p>《片対数グラフ》</p>	<p>↓</p> <p>《片対数グラフ》</p>
P.107 1.1.1 弱塩基性薬物の水中での解離	$\text{B} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{BH}^+ + \text{OH}^+$	$\text{B} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{BH}^+ + \text{OH}^-$
P.108 下から4行目	$K_a \times K_b = \frac{[\text{A}^-][\text{H}^+]}{[\text{HA}]} \times \frac{[\text{HA}][\text{OH}^+]}{[\text{A}^-]}$	$K_a \times K_b = \frac{[\text{A}^-][\text{H}^+]}{[\text{HA}]} \times \frac{[\text{HA}][\text{OH}^-]}{[\text{A}^-]}$
P.170 1.1	紫外可視吸光測定法	紫外可視吸光度測定法
P.200 問19 解答	正	誤

	訂正前	訂正後
P.8 ルイス酸 例	ZnCl ₃	ZnCl ₂
P.21 4.1.5	 <p>正八面形 Mg(Ⅱ)、Al(Ⅲ)、Mn(Ⅱ) Mn(Ⅲ)、Fe(Ⅱ)、Fe(Ⅲ) Cr(Ⅲ)、Co(Ⅱ)、Co(Ⅲ)</p>	 <p>正八面形 Mg(Ⅱ)、Al(Ⅲ)、Mn(Ⅱ) Mn(Ⅲ)、Fe(Ⅱ)、Fe(Ⅲ) Cr(Ⅲ)、Co(Ⅱ)、Co(Ⅲ)</p>
P.29 1.6	 <p>アキシアル結合</p>  <p>エクアトリアル結合</p>	 <p>アキシアル結合</p>  <p>エクアトリアル結合</p>
P.47 2.2.2 表 反応中心が同じ場合	CH ₃ COOH ⁻	CH ₃ COO ⁻
P.58 C ③		
P.86 問8 上から1行目	¹ H NMR における -O- の化学シフト ……	¹ H NMR における -O-CH ₃ の化学シフト ……
P.163 4.6	<p>シキミ酸 → 芳香族アミノ酸 →</p> <p>(フェニルアラニン、チロシン、トリプトファンなど)</p>  <p>クマリン類 (スコボレチンなど)</p>	<p>シキミ酸 → 芳香族アミノ酸 →</p> <p>(フェニルアラニン、チロシンなど)</p>  <p>クマリン類 (スコボレチンなど)</p>
P.192 問6 解答・解説	誤 ……安定ないす形配座ではクロロ基がアキシアル位、 <i>tert</i> -butyl 基がエクアトリアル位に存在する。	正 ……安定ないす形配座ではクロロ基、 <u><i>tert</i>-butyl 基</u> がともにエクアトリアル位に存在する。

	訂正前	訂正後
P.18 4.1.1		
P.59 1.1.1 図		
P.78 1.2.1 表 興奮の伝達	③シナプス前膜に存在する。Ca ²⁺ チャネルが開口し、Ca ²⁺ が細胞内に流入する	③シナプス前膜に存在する Ca ²⁺ チャネルが開口し、Ca ²⁺ が細胞内に流入する
P.105 2.2.2 ペプチドグリカンの化学構造		
P.109 2.4.1 表	③ビタミンの産生	③ビタミンの供給
P.109 2.4.1 表	ビタミン B ₁ 、B ₂ 、B ₁₂ 、K、葉酸など…	ビタミン B ₂ 、B ₆ 、B ₁₂ 、K、葉酸、パントテン酸、ビオチンなど……
P.130 A		
P.130 A		

	訂正前	訂正後
P.151 4.2 【治療】 表 2. プロトンポンプ 阻害薬の特徴	H ⁺ ,K ⁺ -ATPase を不可逆的に阻害する	H ⁺ ,K ⁺ -ATPase を阻害する
P.247 6.4 【治療】 表 3. インテグラーゼ 阻害薬	ラルテグラビル	ラルテグラビル <u>カリウム</u>
P.265 4.1.4 表	ラルテグラビル	ラルテグラビル <u>カリウム</u>

	訂正前	訂正後
P.3 1.2.1 下から6行目	……人工受精……	……人工授精……
P.25 1.2 ☒	 <p>The diagram shows a flow from '情報の送り手' (Information Sender) to 'メッセージ' (Message) to '情報の受け手' (Information Receiver). Below the flow, two boxes labeled '情報を符号化 (Encoding)' (Encoding Information) are shown, each with an example: '例 手紙・メールを書く' (Example: Writing letters/emails).</p>	 <p>The diagram is identical to the previous one but includes a red dashed box around the second '情報を符号化 (Encoding)' box. This box is now labeled '符号を解読 (Decoding)' (Decoding Symbols) with the example '例 手紙・メールを読む' (Example: Reading letters/emails).</p>